

各務原市総合計画の達成状況について

1. 各務原市総合計画について

(1) 総合計画の目的

各務原市総合計画は、まちづくりを進めていくうえで最上位に位置づけられる計画であり、本市が目指す将来のまちの姿や、その実現のために取り組む施策を定めたまちづくりの指針となるものです。

行政分野別に目指す姿を設定し、そのために取り組む施策・事業の成果(数値)を把握することで、まちづくりがどの程度達成されているかを確認します。

(2) 総合計画の構成

総合計画では、本市が目指す将来のまちの姿(将来都市像)を「笑顔があふれる元気なまち ～しあわせ実感かかみがはら～」と定めています。

この将来都市像を実現するため、「思いやりとふれあいのある協働のまち(市民協働)」、「心豊かで文化を育む人づくりのまち(教育・文化・スポーツ)」など9つの「基本目標」を掲げ、各政策における取り組みの方針を示しました。

9つの「基本目標」には、37の「施策の柱」と134の「施策の方向性」を位置付け、それぞれの柱に、具体的な手段として事務事業を体系づけています。

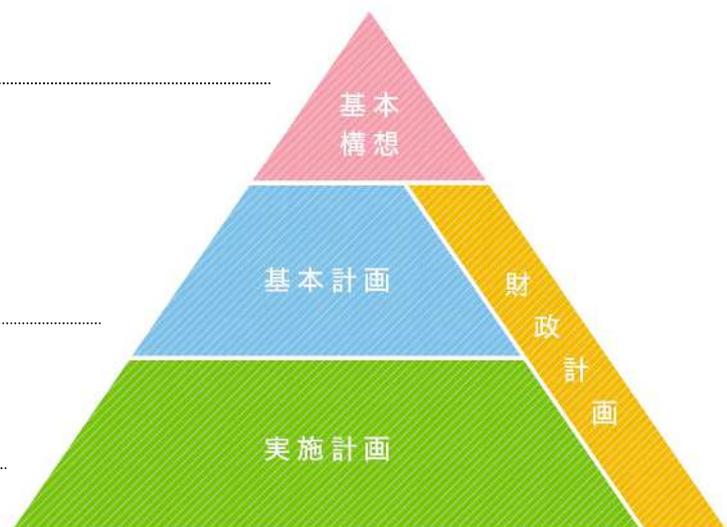
○将来都市像

○基本目標(9)

施策の柱(37)

施策の方向性(134)

○事務事業



(3)行政評価

総合計画には、「施策の柱」ごとに、その達成度を把握するための「達成指標」として、数値の積み上げによって成果を測る「客観的指標」と、事業の実施によって市民の意識がどう変わったかという主観的な判断によって成果を測る「主観的指標」を設定しています。この各指標の推移をもとに、事業の成果や実績等の現状分析を行うとともに、課題を整理し、課題がある場合にはその対策を検討するなど、PDCAサイクルを踏まえた施策・事業の見直しを実施します。

この「しあわせ実感かかみがはら地方創生懇話会」では、施策・事業の達成状況について、外部の有識者からの意見聴取を実施し、その意見をもとに施策・事業の改善につなげます。

2. 達成指標の状況等について

(1)数値の確認

主観的指標・客観的指標の算出方法は、次のとおりです。

○主観的指標

令和5年度市民満足度調査(2年に1回実施)

区分	対象者	調査期間	回収数	回収率
18歳以上市民	3,000人(無作為抽出)	令和5年7月7日 ~7月31日	1,060	35.3%
中高生	市内中高生500人	令和5年7月3日 ~7月31日	288	57.6%

○客観的指標(令和5年度末時点)

指標に関連する各部署において実績値を確認し記載。

(2)進捗状況

令和5年度の進捗状況は、次のとおりです。

令和6年度の目標値に対して、令和5年度の実績は、進展しているもの(A及びB)が89指標、進展していないもの(C及びD)が21指標となりました。計画年度4年度目で全体の約8割の指標が進展していると評価できます。

進捗状況	A	B	C	D	未実施・未公表	合計
主観的指標	7	32	9	2	1	51
客観的指標	23	27	9	1	2	62
合計	30	59	18	3	3	113
割合	26.5%	52.2%	15.9%	2.7%	2.7%	100%

(3)各達成指標の進捗状況

各達成指標の進捗状況は、別紙資料2-2のとおりです。